

薬学系研究科 メールサービス移行の概要

情報ネットワーク設備委員会

◆移行の背景

薬学系研究科所有のメールサーバは物品保証が切れているうえ、メーラーの最新バージョンに対応できないなどセキュリティ上の問題が出ているため、2020年10月の教授会で今年度中に同サーバを廃止し、情報基盤センターのメールホスティングサービスへ移行することを決定しました。

◆新メールサービスの概要

- ・ アドレス (XXXX@mol.f.u-tokyo.ac.jp) に変更はありません。
- ・ UTokyoAccount 所持者に発行される ECCS アドレスを本体として、mol アドレスを分身として紐付け、見かけ上 mol アドレスで送受信できるようにするものです。
- ・ ECCS クラウドメールで利用している G Suite for Education を使います。
- ・ 1 人につき 1 つの個人アドレスが発行されます。
- ・ 利用費用は原則研究科負担です。ただし、研究科としてメールアドレス交付の必要性が認められない場合には、個別負担となる場合もあります。
- ・ メーリングリスト (=移行後の呼称は「グループアドレス」) の利用は無償です。ドメイン”@mol.f.u-tokyo.ac.jp”のグループアドレスを新規に発行したい場合は、部局管理者（執行チーム）に申請してください。
- ・ グループアドレス新規申請の際に、用途と管理者を確認いたします。薬学系研究科構成員に対する教育・研究・福利厚生の用途に付さないと判断した場合は発行不可となる場合があります。
- ・ 保存容量無制限です。

◆使い勝手の主な変更点

- ・ 今後は mol メールを発行申請するためには UtokyoAccount の所持が必須となります。
(次項目に詳細後述)
- ・ アドレスを複数メンバーで共用することはできません。そのため、これまで複数メンバーで共用していたアドレスは、移行後は“グループアドレス”として運用することになり、利用メンバーの設定が必要となります。
- ・ グループアドレスごとに設定したオーナー (UtokyoAccount 保持者) にメンバー設定権限が付与されます。

※ システム上、管理者 (=執行チーム) もグループアドレスのオーナーに加わる仕様ですが、メールを配信および閲覧することはありません。

- ・ 中国出張時は中国当局の制限により Google が使えない可能性があります。なお、日本国内と中国国内間での送受信は現時点では問題ないことを確認済みです。
- ・ UTokyoAccount を持たない方は mol メールが利用できなくなります。該当者のアドレスは、転送設定により移行後も受信はできますが送信ができなくなります。転送設定は管理者（=執行チーム担当者）にて行います。費用はかかりません。

◆UtokyoAccount の発行について

これまで UtokyoAccount の有無に関わらず当研究科での活動が確認でき、申請者の希望があれば mol アドレスを発行していました。

今後は、mol アドレスの必要性を厳密に確認することと並行して UtokyoAccount 発行の適否を確認し、mol アドレスの利用可否をお伝えします。特に、主の所属が他組織である方については基本的には受信のみの転送設定をご案内します。